

令和3年度学校自己評価システムシート (県立日高高等学校)

目指す学校像	地域の期待に応え、社会で活躍できる生徒を育てる学校
--------	---------------------------

重点目標	1 授業改善を進め、基礎学力の向上を図る 2 基本的生活習慣を確立させ、豊かな心身を育む 3 組織的・計画的な進路指導を充実させ、一人ひとりの進路実現を図る 4 地域・保護者との連携を深め、開かれた学校づくりを推進する
------	--

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者学校関係者	5名
生徒	2名
事務局(教職員)	7名

学 校 自 己 評 価							学 校 関 係 者 評 価
年 度 目 標				年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)			実 施 日 令 和 4 年 2 月 3 日
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<p>【現状】授業研究や授業改善が進み、授業に満足している生徒の割合は向上している。資格取得に向けた補習体制が確立し、生徒は各種検定合格に向けて日々努力重ねている。</p> <p>【課題】配置されたタブレットやプロジェクターを活用し、オンライン授業等を推進する。基礎力診断テストを活用し、学習到達度を把握し、生徒の実態に即した授業展開をより一層推進する。</p>	学習意欲を高め基礎学力を向上させ、高校生活の満足度を85%以上にする。	①教員相互の授業観察や研修会を通じて教員の授業力を向上させ、生徒の基礎学力の定着を目指す。 ②朝学習、タブレット、学習サポーター、全クラス配付の新聞4紙を活用して、学習意欲を育成する。 ③年2回の学校評価アンケート(6月、12月)を実施し、経年変化の調査を継続する。 ④学びの基礎診断の一環で基礎力診断テストを活用し、個々の学習到達度を把握し、個に応じた学習指導をさらに充実させる。 ⑤各種検定試験に挑戦させ、達成感と向上心を育成する。	①授業公開や研修会を実施できたか。授業満足度85%以上を達成できたか。 ②朝学習の実施状況。タブレット・学習サポーター・新聞を活用できたか。 ③「授業がわかる」「授業に満足」の回答85%以上。学校生活への満足度が上昇したか。保護者の満足度95%以上を維持できたか。 ④基礎力診断テストの結果を基に基礎学力がどれくらい伸長したか。 ⑤検定試験の受験状況、資格取得状況。	①授業公開や研修会、年次研修者、相互の授業を見合う等を通し授業力の向上に取り組み、授業満足度85%以上達成できた。 ②朝学習、タブレット、学習サポーターを活用し、生徒の学習意欲の向上に対する効果に繋がった。 ③「授業が分かる」、「授業に満足」の回答はそれぞれ90%、87%。と昨年より上昇した。また、本校への満足度は生徒約84%、保護者約94%と昨年より上昇した。 ④基礎力診断テストの伸長度を計測した結果、確実な基礎学力の向上が見られた。 ⑤全商主催の検定、漢字検定、英検の受験者が増加し、資格取得者数も昨年より増加した。	A	<p>【課題】学習意欲や基礎学力の向上のステップアップ、探究型学習の推進、観点別評価の実動。資格取得に対する意識の向上が必要。授業満足度の更なる向上に向けての工夫。</p> <p>【改善策】学力向上委員会、さらなる基礎学力の向上、総合的な探究の時間を実動していく。放課後補習や学習室を活用し、家庭学習の定着を図る工夫をする。オンライン授業を推進していく。</p>
2	<p>【現状】落ち着いた生活環境は整い、挨拶のできる生徒が増加している。多くの社会貢献活動をとおして、地域への貢献度や存在感も高まってきている。</p> <p>【課題】基礎的生活習慣を確立させるために、さらに段階的・組織的に指導を徹底する必要がある。部活動については、部員が定着するように継続的に指導し、部活動活性化に向けた対応策を構築させる。また、実施できる社会貢献活動に参加し、自己有用感を持たせられるよう活動していく。</p>	基本的生活習慣を確立し、規律ある態度を身につけさせる。 体験活動や社会貢献活動に積極的に参加させることにより、生徒の豊かな心身を醸成する。	①挨拶励行・時間厳守・整理整頓の目標を教室に掲示し、規律ある生活態度を育成する。 ②朝の挨拶運動を継続し、あらゆる場面で挨拶ができる生徒をさらに増加させる。 ③TPOに応じた服装指導等を学校全体で実施する。	①「ルールを守らせる指導」、「整理整頓」の回答90%以上。 ②教員は毎日、生徒会は週1回の挨拶運動ができたか。「挨拶をする」の回答95%以上。 ③登校時、全校集会時に実施できたか。	①「ルールを守っている」95%「整理整頓」できている92%回答は上昇した。 ②朝の挨拶運動は毎日実施できた。「挨拶をする」の回答は、昨年より84%と上昇した。 ③生徒指導部を中心に各学年と連携し、組織的・継続的に実施し、指導件数も減少するなどの成果があった。特に1学年は年間0件であった。	A	<p>【課題】遅刻者は確実に減少している。基本的生活習慣の確立に向けて引き続き自助努力が必要である。</p> <p>【改善策】登校指導、HR指導、全校集会等を通じて学校全体で継続的に指導し指導件数を減少させる。</p>
3	<p>【現状】各学年とも計画的かつ組織的に指導し、ほぼ全員の進路を確定できた。</p> <p>【課題】進路に対する意識が希薄な生徒がいる。将来働くことへの意識を高める工夫や機会をつくり、個々の生徒に応じた進路指導を徹底する。</p>	計画的・組織的な統一した進路指導により、生徒全員の進路実現を目指す。	①3年間を見通した進路計画を策定し指導をしているが、さらに見直しを図りながら生徒に適した進路指導を実施する。 ②キャリア教育講演会を実施し、生徒の進路意識を向上させる。 ③保護者対象の進路行事や情報発信を工夫し、家庭の理解や協力をさらに強固にする。 ④生徒をオープンキャンパスや合同企業説明会に積極的に参加させる。	①計画的かつ組織的に指導できたか。進路未定者がゼロに近づいたか。 ②充実した講演会が実施できたか。 ③文書や一斉メールを活用できたか。 ④参加人数とその内容。	①進路指導部と学年が連携し、生徒の希望に合った生徒全員の進路を決定できた。特に本年度は進学内定者は大幅に増加した。 ②企業等の協力を得て、生徒の満足度の高い講演会を実施し、進路意識の向上に繋がった。 ③進路指導において文書や一斉メールを活用し、保護者の連携し、理解と協力が得られた。 ④例年のような進路行事を開催し、リモートを活用する等コロナ禍でできる形態を工夫し、各学年全体の生徒が積極的に参加した。	A	<p>【課題】より一層早期から自分の進路について考えさせ、学校全体で統一した指導を実施し、生徒の進路実現につなげる。</p> <p>【改善策】1年生から計画的な進路指導を充実させ、自分の進路を考えさせる。講演会や外部指導を活用し、自分の人生設計について考えさせる機会をより多くつくる。</p>
4	<p>【現状】文化祭や体育祭等の学校行事に参加する保護者は増加している。また、地元小中学校からの信頼関係も構築し5年連続で入試倍率が1倍を超え本校への関心もより高まっている。</p> <p>【課題】学年別懇談会、PTA総会等の行事をHP、安心メール、通知により周知参加者を増加する。学校説明会の内容をさらに充実させ、出前授業や公開講座を積極的に実施し、志願者の確保に向けた取組を学校全体で行う。</p>	保護者との連携を深め、PTA活動をより充実させる。 積極的な情報発信を行い、本校に対する理解度を高めて志願者数を増やす。6年連続入試倍率1倍超を実現させる。	①PTAだよりを年3回発行し、保護者への広報活動に努めるとともにホームページにも掲載する。 ②保護者会等あらゆる機会を通じて、一斉配信メールへの登録を呼びかける。 ③PTA理事会を通じて保護者同士のネットワークを構築し保護者の学校行事への支援と参加を呼びかける。	①PTA だよりの発行状況。ホームページへの掲載状況。 ②一斉配信メール登録者95%以上。配信回数年間50回以上。 ③昨年度と比べて参加者が増加したか。	①PTAだよりを例年通り3回発行できた。 ②一斉配信メール登録者100%、配信回数は年62回を超えた。行事やお知らせ、長期休業の前後に配信し、保護者への協力依頼ができた。 ③PTA理事会は開催できなかった。	B	<p>【課題】各行事も中止されたことを受け、今後のPTA活動の継続性が課題である。</p> <p>【改善策】PTA役員同士のネットワークは構築し、役員以外の保護者へも一斉配信メール等でPTA活動の情報発信をしていく。</p>
			①ホームページの内容を充実させ、更新回数年間300回、アクセス数1日平均950件を目指す。また、「日高高校だより」年6回発行を目標とする。 ②学校説明会の内容を充実させ、本校の魅力を積極的に発信する。 ③コロナ禍であるが、工夫しながら地域や地元小中学校との連携を深め、本校への理解啓発を進める。	①学校全体で協力し達成できたか。 ②学校説明会等への参加者が増加し、参加満足度が高まったか。 ③各取組の実施状況とその内容。	①更新回数は年間130回程度、アクセス数は1日平均3300件を超えた。 ②学校説明会等の見直しやリモートを活用する等工夫を図り、複数回出席する受験生や保護者が多く、参加者数が増加及び満足度も増加した。 ③出前授業は実施できたが、コロナ禍で今年度も公開講座、市内小中学校や短大との連携も実施できなかった。	B	<p>【課題】ホームページの内容の充実を図る。学校と地域とWIN WINの活動を実現させる。</p> <p>【改善策】ホームページに学年行事や授業等日常の記事を掲載する等、内容の充実を図る。日高市や近隣の学校との連携をさらに強化し、志願者の増加に対する工夫をしていく。</p>

学校関係者からの意見・要望・評価等	<p>「わかる授業」90%「授業に満足」87%は極めて高い数字である。授業力、先生と生徒の信頼関係の強さを感じる。目標達成状況の成果が出ていることが素晴らしい。達成状況を見ることが素晴らしく教員が一体となっていることが窺える。生徒の授業中の態度も良好である。今後オンライン等の授業形態によりどのような教育効果が出るか期待される。さらなる工夫や向上を目指し授業満足度も継続できる。</p> <p>学校見学、授業を通して学校全体が落ち着いていると感じる。学習意欲も高く中学校側としても見習いたい。達成状況を見ても大変良い評価を出し、教員一人一人の努力が見てとれる。年々良い方向に進んでいる。コロナ禍で外での活動が少なかったのが残念である。体験活動や、社会貢献活動はコロナ禍の中で他校においても同じような状況に思われる。コロナ終息後部活動の加入率や定着率が向上するように思われる。コロナ対応の変化によりいろいろと実現できていくのではないかと。</p> <p>丁寧に指導していることで生徒の進路意識が確実に高まっている。達成状況が素晴らしい結果が出ている。特に進学率の向上は高校自身の変化にも繋がると思われる。一番難しい自分の人生設計において外部指導を活用しているところも良い。</p> <p>コロナ禍で制限ある中、体育祭や文化祭が充実していたと地域にも伝わって来た。HPは記事の鮮度があり、生徒の活動が伝わってきて素晴らしい。地域から生徒を見ても大きな問題はなく、日高高校が地域のステータスとして今後も学校全体で盛り上がることを期待する。PTA活動は今年度も難しい状況だったが来年度は徐々に活動していける。PTAとの関係も良好。学校説明会等の見直し、新しい手段の活用、今後の高校の変革に繋がるものと思われる。</p>
-------------------	---

